

第 37 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

1. 日 時 2022 年 3 月 9 日 (水) 9:30～11:30

2. 場 所 WEB 会議 (ホスト：日本電気協会 特別会議室)

3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員：板東主査 (東京電力 HD), 山本副主査 (北海道電力), 益田 (東北電力), 泉 (中部電力), 森本 (北陸電力), 木村 (関西電力), 神崎 (中国電力), 佐野 (九州電力), 早坂 (日本原子力発電), 大口 (電源開発), 二神 (JAEA), 平野 (三菱重工), 伊藤 (日立 GE), 田澤 (富士電機)

代理委員：井原 (四国電力・西紋委員代理), 及川 (東芝 ESS・佐藤委員代理)

説明者：石谷 (北海道電力), 井上 (中部電力), 荒木 (北陸電力), 藤井, 森井, 磯崎 (日本原子力発電), 小野 (電源開発), 織田 (日立 GE), 高田 (三菱重工)

事務局：末光, 田邊 (日本電気協会)

4. 配布資料

資料 No.37-1 安全設計指針検討会委員名簿 (2022-3-9)

資料 No.37-2 第 36 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

資料 No.37-3-1 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画 (案)

資料 No.37-3-2 2022 年度各分野の規格策定活動(案)

資料 No.37-4-1 JEAG46XX「原子力発電所の有毒ガス防護に関する指針 (仮題)」策定作業に関する中間報告

資料 No.37-4-2 JEAG 46XX「原子力発電所の有毒ガス防護に関する指針 (仮題)」原案

5. 議事

(1) コンプライアンスについて

事務局より, 近年の我が国の独占禁止法のより一層の遵守, 欧米等の競争法の執行強化の傾向を踏まえ, 電気協会においても競争法に関するコンプライアンスの取り組みを進めているため, 本検討会においても競争法上問題となる虞のある話題については, 話し合わないよう協力のお願いがあった。

(2) 定足数の確認, 代理出席者の承認について

事務局より, 代理出席者 2 名の紹介があり, 主査により承認された。委員総数 16 名に対して, 本日の出席委員は代理を含めて 16 名であり, 委員総数の 3 分の 2 以上の出席という会議開催定足数を満たしているとの報告があった。

また, 事務局より, 本日の説明者 9 名の紹介があった。

(3) 委員の交代について

事務局より, 資料 No.37-1 に基づき, 新委員 5 名の紹介があった。また, 新委員候補 1 名については, 次回安全設計分科会にて承認予定である旨の説明があった。

(4) 前回議事録の確認

事務局より, 資料 No.37-2 に基づき, 前回議事録の内容説明があり, コメントなく承

認された。

(5) 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画について

資料 No.37-3-1~2 に基づき、主査から安全設計指針検討会に係わる 2021 年度活動実績及び 2022 年度活動計画について説明があった。

(6) 中央制御室の有毒ガス防護に係る新規格策定作業の中間報告について

及川氏より、資料 No.37-4-1~2 に基づき、中央制御室の有毒ガス防護に係る新規格策定作業の状況について説明があった。

主な質疑は以下のとおり。

✓ 資料 No.37-4-2 [解説 6.8]

文献等に基づく有毒ガス防護判断基準値設定の例において、メタノールの設定例が 2 種類ある理由はなにか。

→資料 No.37-4-2 p 43 にて説明を記載しているが、設定例 (4/5) は慢性的影響、設定例 (5/5) は急性影響としての基準値を設定している。

✓ 規制庁のガイド等に誤記がある場合、本規格に取り入れる際の修正要否の考え方はあるか。また、参照する法令名称は、策定時における名称に修正してはどうか。

→あきらかな誤記は修正を行い、法令名称は策定時の名称とする。検討会終了後、各委員にコメント依頼を予定しており、これと合わせて修正する。

安全設計分科会(4月22日予定)および原子力規格委員会(6月28日予定)にて中間報告を行う事について採決が行われ、挙手および音声による確認の結果、本議案は承認された。

(7) その他

- ・JEAG4612 について、3 月末に発刊予定である旨の紹介があった。
- ・資料 No.37-4-1~2 について、コメント依頼を行う (〆切 3 月 25 日)。
- ・検討会の議事録作成は、幹事会以外電力委員および JAEA の委員にて持ち回りを行うこととした。

以 上